

**横浜市港南区地区センター
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録**

開催日時	令和3年8月3日（火） 9時00分から10時35分まで
開催場所	区役所 603 会議室
出席者	藤崎委員長、宮田委員、小川委員、小後摩委員、谷本委員（計5名）
傍聴者	なし
議題	はじめに（横浜市港南地区センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <応募団体 一般社団法人こうなん区民利用施設協会> ・スケールメリットを生かし、管理運営する10施設及び区民活動支援センター間の情報共有及び情報交換を行い、業務改善を行っていく。 ・コンプライアンス向上及び個人情報保護のため、職員行動基準を定め、管理体制を構築し、信頼が得られる施設づくりに向けて行動する。 ・WEBでの図書の貸し出し予約や、Zoomでの講座の開催などコロナ禍をきっかけにITの活用を加速させる。 ・各館に生涯学習コーディネータを配置し、港南区民活動支援センターのランチ施設として活動の活性化の支援等、コーディネート機能を強化するとともに、「見守り・支えあい」を意識した取り組みを進める。 ・交通至便性を生かし、幅広い世代につながる場、交流の場を提供していく。また地域団体との連携を強化するとともに積極的な事業PRにより、リピーターのみではなく新規利用者の開拓を図る。 ・パソコンスペースの設置やキャッシュレス化の導入、預かり保育の実施など、新たなサービスの提供やサービスの拡充により、利用者サービスの向上を推進する。 ・個人利用でのWEB予約の導入、SNS活用による事業キャンペーンなどにより稼働率アップを図るとともに、物品販売の範囲を広げて雑収入の増加も目指す。また、効率的効果的な経費執行により、無駄のない業務運営を行う。 2 審議 第4期横浜市港南地区センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定した。 【委員意見】 ・現在の指定管理者ならではの安定性があり、施設の発展が期待できる。 ・生涯学習コーディネータの配置は、施設運営の活性化への可能性が広がり評価できる。 ・Zoomを活用した事業提案などは今後の運営への意欲を感じた。 ・新サークルに対する優先利用制度は、サークル育成のための良い取り組みである。 ・10施設管理のメリットを生かした運営が期待できる。 ・緊急時の体制がしっかり構築されている点や、横浜市の中期計画等の推進に沿って市への貢献

	<p>を視野に入れている点が良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進策に具体性が乏しく、目標が達成できるのか不透明である。より具体的な提案があるとよかった。 ・IT化の遅れや施設設備改善の遅れがみられる。 ・館長の個人差で実際の対応が変わらないよう、利用者の目線に立ったきめ細かい対応が今後の運営に必要である。 ・応募関係書類の収支決算書に差し替えが生じるなど組織としての経理体制に課題が残る。 ・財務状況については、30年度以前は安定的に運営されていたと思われるが、今後のコロナ禍での運営には、一層の収入確保及び経費節減の施策が必要になる。
審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市港南地区センター指定管理者の指定候補者とする（600点/825点）。
特記事項	特になし